

# ひのほら 議会だより

8

2016.8.1  
No.146



払沢の滝ふるさと夏まつり (8月20日・21日)



## 目 Contents 次

**P.2** 村提出議案を可決 平成28年第2回定例会

**P.3** 議案と議決結果

**P.5** 各委員会報告

**P.7** 一般質問 8名 11問

このようなことを審議いたしました

# 平成28年第2回定例会

6月6日～6月17日の12日間、開催し、村長提出案件16件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

## 専決処分

議案第44号

専決処分の承認を求めることについて（檜原村国民健康保険条例の一部を改正する条例）

（説明）

地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、課税限度額、5割軽減等について改めるものです。

議案第45号

専決処分の承認を求めることについて（檜原村税賦課徴収条例の一部を改正する条例）

（説明）

地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、不服申立てを審査請求に改めるものです。

議案第46号

専決処分の承認を求めることについて（檜原村国民健康保険条例の一部を改正する条例）

（説明）

診療報酬の改定に伴う改正です。

## 条例

議案第51号

檜原村行政不服審査会条例の一部を改正する条例

（説明）

委員の秘密漏えいの罰則についての条文を追加するものです。

議案第52号

檜原村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

（説明）

学校教育法等の一部改正に伴うものです。

## 人事

議案第48号

檜原村固定資産評価審査委員会委員の選任について

（説明）

檜原村固定資産評価審査委員会委員に、引き続き岡部美彦氏を選任するものです。

## 契約

議案第49号

消防ポンプ車購入契約について

（説明）

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 2千328万4千800円

○契約の相手方

（株）きの防災

代表取締役 佐藤剛伸

議案第50号

配水管布設替工事請負契約について

（説明）

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 9千828万円

○契約の相手方

草間工業(株)

代表取締役 草間敬徳

## 補正予算

議案第54号

平成28年度檜原村一般会計補正予算（第1次）

（説明）

補正額7千490万1千円を増額し、総額を34億6千990万1千円としました。

議案第55号

平成28年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算

事業勘定（第1次）

診療施設勘定（第1次）

（説明）

事業勘定

補正額14万4千円を増額し、

総額を4億14万4千円としました。

診療施設勘定

補正額29万6千円を増額し、

総額を2億2千129万6千円としました。

議案第56号

平成28年度檜原村簡易水道特別会計補正予算（第1次）

（説明）

補正額1千28万9千円を増額し、総額を1億9千828万9千円としました。

議案第57号

平成28年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計補正予算（第1次）

（説明）

歳出における科目間の金額調整を行いました。

議案第58号

平成28年度檜原村下水道事業特別会計補正予算(第1次)

(説明)

補正額24万6千円を減額し、総額を5億3千458万4千円としました。

議案第59号

平成28年度檜原村介護保険特別会計補正予算(第1次)

(説明)

補正額370万6千円を減額し、総額を4億7千429万4千円としました。

その他

議案第47号

檜原村商業施設の指定管理者の指定について

(説明)

檜原村商業施設の指定管理者として「株式会社めるか檜原」を指定するものです。

議案第53号

檜原村道路線の廃止及び変更について

(説明)

村道第57号神戸線の工事完了に伴い、村道路線の廃止及び変

更をするものです。

陳情(1件)

陳情第2号

総務委員会

○住民の健康増進と2020東京オリンピック、パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める要望・陳情書

陳情者 スモークフリーキヤバンの会

スモークフリーTOKYO

代表 中久木一乗

※受動喫煙

喫煙者本人ではなく、その周囲の人が間接的にたばこの煙を吸い込むこと

平成28年第2回定例会で審議された議案と議決結果

議長 森田ちづよ ○=賛成 ×=反対

区分	議案名	議員名								議決結果
		浜中由造	中村賢次	吉川洋	峰岸茂	清水兵庫	山崎源重	山口和彦	清水満男	
専決	第44号	専決処分の承認を求めることについて(檜原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第45号	専決処分の承認を求めることについて(檜原村税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第46号	専決処分の承認を求めることについて(檜原村国民健康保険檜原診療所使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
人事	第48号	檜原村固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
契約	第49号	消防ポンプ車購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第50号	配水管布設替工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	第51号	檜原村行政不服審査会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第52号	檜原村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第54号	平成28年度檜原村一般会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第55号	平成28年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定第1次、診療施設勘定第1次)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第56号	平成28年度檜原村簡易水道特別会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第57号	平成28年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第58号	平成28年度檜原村下水道事業特別会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第59号	平成28年度檜原村介護保険特別会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	第47号	檜原村商業施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第53号	檜原村道路線の廃止及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	第2号	住民の健康増進と2020東京オリンピック、パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める要望・陳情書	×	×	○	×	×	×	×	不採択

檜原村商業施設の指定管理者の指定についての討論

賛成討論

清水 兵庫

現在、村内で買い物ができる場所が少なく苦慮している人が多い。普段バスを移動手段としている人など、特に高齢者の方々は、村内外に住む子どもなどが、休日に車で他市町村に出かけ買い物を行なっている。今後、村内で買い物が出来れば、バスを使って直接買い物に行く方、役場・診療所・金融機関等に行くときに、買い物をして、帰る方が多くなると考える。また、車を利用できる方も他市町村の遠方まで行かずに、村内で買い物が出る事は、住民が待ち望んだ事である。買い物支援事業により、地元業者・移動販売業者との相乗効果も期待できるものと考ええる。そして、このミニスーパーを介して新たな人の繋がりができる。高齢化社会のこの村では、その効果について、数値に表すことが出来ない

ものもあるが、大いに期待出来るものと考ええる。よって、賛成するものである。

賛成討論

吉川 洋

村のアンケート調査によれば、買い物利便性向上は第一の要望である。消費者の立場では私もそう思う。ただし、計画ではミニスーパーは年間500万円も赤字を出すことになっている。要するに税金負担で運営することになる。子ども達の文房具や高齢者の紙おむつ、尿取りパットなどが購入できるように児童福祉や高齢者福祉に重点を置いてやっていただきたい。ミニスーパーの取扱商品は500〜600品目程度となつていて、当然にその中では地場の商店と競争するものが出てくるが、村のあり方として長い間経営してきた地元の商店や移動販売者が廃業に追い込まれることは避ける必要がある。そのところをクリアしていただくことを希望し、願いをこめて賛成討論とする。

陳情第2号 住民の健康増進と2020東京オリンピックピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める要望・陳情書

賛成討論

吉川 洋

受動喫煙は、たばこを吸わない人が健康被害を被ることであり、たばこの健康障害は医学的に立証されている。健康増進法や労働安全衛生法では学校、病院、公官庁施設、飲食店などの多数の者が利用する施設の管理者は受動喫煙を防止するため必要な措置を講ずるよう努めなくてはならないとなつている。

した分煙、禁煙地域を決める受動喫煙防止の条例を作る必要がある。よって、本陳情に賛成とする。

ところから締め出されている。喫煙者は、不平等な扱いを受け、新たな差別的扱いさえ、されているように思われる。喫煙を習慣としていない人たちは、その優位性を主張し、犯罪者であるかのように喫煙者を疎外する。

反対討論

清水 兵庫

陳情の趣旨については、理解できるが、あえて、条例化する必要はなく分煙を徹底し場所によっては、禁煙にすればよいものと考ええる。私は、喫煙を奨励するものではないが喫煙は、現在、違法ではなく、これを条例で規制することよりも分煙・禁煙を徹底し、お互いを思いやるマナーを持つことを、もっと尊重すべきものと考ええる。よって本陳情は、反対すべきものとして、意見を申し上げ反対討論とする。

喫煙者は「自分はたばこ税を払っている」というが、たばこ税収入は約2兆5千億円であり、喫煙が原因の医療費、火災、清掃などの社会的負担は税収の2倍の5兆円を超える。檜原村はエコツーリズムが観光の柱であるが、三頭山の頂上や村内の飲食店内での喫煙によって観光客が不愉快な思いをしている。檜原村は観光、環境、村民の健康を守るという意味で地域に則

反対討論

山崎 源重

近年、たばこを吸う場所は、あらゆる公共施設や人の集まる

# 各委員会報告

## 総務委員会報告

総務委員会は6月9日に開催し、1件の所管事務調査と1件の陳情について審議を行いました。

2階部分は主に会議室となっております。西庁舎は檜原産材を多く使用しており、外壁だけでなく内壁や床、事務室の机などにも使用されています。

### 所管事務調査 ○檜原村役場西庁舎視察

契約金額 4千89万6千80円  
契約業者 (株)光壽建築

西庁舎は檜原村役場と上元郷駐在所の間に新しく建てられました。木造2階建て、延床面積約184㎡の建物で、平成27年10月に工事を開始し、平成平成28年3月に完成しました。

1階部分は主に事務室となっており、企画財政課むらづくり推進係と地域おこし協力隊員の事務所として使用されています。また、事務室の一部が第3セクター「株めるか檜原」の事務所として使用されています。



## 陳情

### ○住民の健康増進と2020東京オリンピック、パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める要望・陳情書

審査結果 不採択

本陳情の趣旨は、喫煙の健康障害について医学的にも立証され公的機関においても認識されており、受動喫煙については「たばこを吸わない人が健康障害を被る」ことから社会的対策が強く求められている。またオリンピックについては、屋内施設が全面禁煙の国や都市で開催されることが慣例となっており。しかし、東京都では条例の制定は足踏み状態である。受動喫煙防止法や条例は何も国や都の専決事項ではなく、地域住民の健康を守るため、地域の特性に対応した受動喫煙防止条例の早期制定を求める、とする内容です。

一例を現地確認し、村側より総務課長・企画財政課長・福祉課長から課長の出席をいただき、委員からの意見を求め、慎重に審査いたしました。

審査の結果、「村の条例を整備する必要がある、議会として取り組むという姿勢を示すべき」という意見もありましたが、「分煙を行えば良い、室内を禁煙にすれば敷地外で吸う人が増える、村で条例を制定するのではなく、国が制定すべき」など本陳情を不採択とすべきという意見が多数を占めました。

よって、挙手による採決の結果「不採択とすべきもの」と決しました。

委員長 中村 賢次

委員会では村内の飲食店の

# 各委員会報告

## 産業建設委員会報告

確認を行ないました。

産業建設委員会は6月10日に

開催し、所管事務調査として2

件の現地調査を行いました。

御前山林道は東京都の施工による林道で平成21年度より進められてきました。

村では、安全のために藤倉バ

ス停の先を、関係者以外の車両

を進入禁止とし、小林家住宅の

駐車場とモノレールを運休して

います。

また、東京都では崩落場所周

辺の測量や伸縮計の設置を実施

しており、今後は対策工法を検

討し実施していくと説明があり

ました。

## ②立山林道開設工事

契約金額 4千12万8千800円  
 契約業者 (有)市川建材土木

立山林道は茅倉地域と下元郷

泉沢地域を結ぶ、延長2千992m、

幅員37mで計画されている林道

で、平成24年度より工事が開始

されています。

平成27年度は80mの開設工事

を行い、起点からの開設済延長

は、298mとなっています。

立山林道では、補強土壁によ

るコンクリートを使用しない林

道として計画されており、森林

環境に配慮がなされています。

今後も開設工事が延長され森

林整備の効率化が行なわれ、木

材利用の拡大が図られることが

期待されます。

委員長 清水 満男



# 登壇8人 村政を問う

## 一般質問

6月議会の一般質問は6月6日に行われました。内容は、要約して受付順に掲載しています。

中村 賢次

議員



### 村営住宅について

経年の村営住宅使用料引き下げ検討！

は。

**村長** ①平成25年度、上元郷地区に購入した土地に、村営住宅を建設するための設計コンペを現在進めている。

②公営住宅の家賃の算定方法を取り入れつつ、廉価に提供できるように設定している。

**質問** ①長く住んでいただくための建設計画が必要と考えるが。

②経年劣化に応じた使用料の引き下げは考えられないか。

**総務課長** ①調査研究を進め、住んでいる方へのアンケートも有効な手段と考えている。

②村営住宅においても大規模な修繕が今後必要となることも考えられる。他の団体等に例があるかというようなことも考慮して、検討をしたい。

**質問** 修繕や管理に経費が掛かることも理解したが、私のような考え方もあることを理解して、是非検討を進めていただきたい。

**総務課長** 提案を踏まえて、今後の使用料の考え方を精査しながら検討をしたい。

①今後の新規の村営住宅建設の予定は。

②住宅使用料についての考え方がら検討をしたい。

峰岸 茂

議員



### 農業技術向上のための支援策の充実について

実施に向け関係団体と調整する

いる。

②東京都の西多摩農業改良普及センターでは、退職者を対象とした定年等就農者セミナーを行い個人の相談にも対応をしている。ジャガイモ以外の講習会等も今後検討したい。

③実施していないが要望等に検討したい。

**質問** ①私は普及センターのセミナーへの参加経験がある。先進農家の菜園においてトマトやナスなどのわき芽かきや、剪定方法など、指導員や経営農家の方の指導のもとで実習し、「百聞は一見にしかずの境地」で学ぶことができた。村民を対象にこのような研修会や講習会を実施できないか。

②村外の専業農家での実習はとでも参考になるので専業農家や普及センターと調整し実現してほしい。

**産業環境課長** ①非常に有益であるとの提言であり、普及センター等と協議したい。

③村外の先進農家での視察や実習を行う考え方があるか。

**村長** ①2月～3月頃、ジャガイモ病害虫防除講習会を行って

②普及センターと内容、日程等について調整し実施について検討したい。

清水 兵庫

議員



## 郷土資料館について

村の歴史は貴重な財産である

は。

③規則には無いが台帳との突合は。

④学芸員等の専門家による調査は。

### 教育長

①資料館は資料ブースでは藤倉地内で出土した縄文土器と主に林業、生活に係る古民具を展示。観光ブースでは自然、郷土芸能、産業等を展示。時代背景は、古代から人が住む村と林業が盛んだった頃である。

②所蔵品は借用物を含め3千点あり展示は300点で民具が全体の七割を占めており、入れ替えは行なっていない。

③管理は「檜原村郷土資料館寄贈・借用者台帳」で行い、古文書は終了し、その他についての突合作業は、今年度中に終わる予定である。

**質問** 檜原村の歴史に、村内外の多くの人が興味を持ち郷土資料館を訪れていると聞く、さらに歴史を紹介し、観光資源的に考えた手段をとれないか以下について伺う。

①展示物の時代背景はいつか。  
②所蔵品の数と展示の計画性

村が考える買い物支援とは

**高齢者福祉施策の支援事業である。**

### 質問

住民の多くが期待しているミニスーパーが開店する。村は、住民福祉の分野から買い物・宅配支援を打ち出している。そこで、村はどのような関わって

①買い物・宅配支援の考えは。

②①の費用負担、雇用は増えるか。

③今後とも公が関わる事を考えるか。

### 村長

①高齢福祉施策の一環として、食品など買い物の手助けを必要とする人への支援で、安否確認等の見守り事業を兼ねての事業である。

②福祉施策としての費用負担である。今後の事業拡大や新事業の展開により雇用拡大が予想される。

③いかに効果的に福祉向上が図れるかを目標として、第三セクターが展開する事業を後援したいと考える。

### 質問

買い物をして役場前バス停を利用する人が増えると想定されるが、藤倉・数馬方面の使い勝手が悪いと考える。そこで、横断歩道の移設と併せて、バス停の移動が検討できないか。

### 企画財政課長

バス停の移動について関係機関・周辺環境に関する調整を行い調査・研究を実施したい。

清水 満男

議員



## 災害時における無人航空機ドローンの活用について

山林火災・土砂災害の被害調査への活用は可能

### 質問

災害時には情報を素早く正確に把握することが必要である。そこで以下の点について質問する。

①災害時の情報収集の現状について

②村の災害時のドローンの活用可能性について

**村長** ①消防団や、必要に応じて職員派遣、村民からの通報、自治会長を災害連絡責任者に委嘱などにより情報収集を行なっている。

②山林火災、土砂災害の被害調査への活用は可能と考える。

**質問** ①災害連絡責任者と、電話回線が遮断された場合の対策は。

②災害により道路が寸断される可能性があり、ドローンの早期の活用や操縦者育成についての検討は。

**総務課長** ①26自治会長に委嘱しており、防災無線の屋外拡声子局32基が役場と相互通信可能。また消防団や人里、小沢コミセンに移動系の無線を配備。

②今後検討し進めて行く。

**質問** 消防団、自治会との意見交換会について

**総務課長** 消防団の役員改選があった時実施し協議している。

浜中 由造

議員



## ごみ減量化対策のさらなる推進について

ごみの減量の周知とともに対策について調査、研究していきたい

②食品ロス削減の取組について  
③生ごみ処理機助成制度の拡充について  
④リユース（再利用）促進の取り組みについて

**村長** ①現時点においては現行の収集方式のまま行ないたい。

②周知、意識啓発について検討していきたい。

③現在、機器購入の50%を、限度額3万円で助成している。  
④フリーマーケット等を通じて周知していきたい。

**質問** ①ごみの収集方法についてアンケート調査をしてはどうか。

②生ごみ処理機購入補助率50%を75%に引き上げ、コンポスト容器補助の復活を行なってはどうか。

**産業環境課長** ①アンケート調査の実施については検討、ごみ減量の有効対策について調査、研究をしていきたい。

②生ごみ処理機購入補助率やコンポスト容器の補助は改めて検討したい。

## 高齢者のみの世帯の住宅照明LED化に助成を

高齢者対策推進委員会等で協議、検討をしていく

**質問** LED照明は価格が高く一般の家庭への普及については遅れている。また高齢者のみの世帯にとっては、照明の交換だけでも負担となっているが、LED照明は蛍光灯に比べ約5倍長持ちするとされており、高齢者世帯の負担軽減につながると考える。そこで以下の点について伺う。

高齢者のみの世帯の住宅照明LED化に対する助成制度の実施ができないか。

**村長** 高齢者対策推進委員会等において、協議、検討を行いたい。

**質問** ①照明LED化に対し、高齢者実態調査を行なってはどうか。

②茨城県阿見町で実施して結果が出ているが、早期に事業の実施は出来ないか。

**福祉けんこう課長** ①高齢者アンケート調査を年度内に実施する予定であり、内容を精査し、取り入れられるようであればアンケートの中に盛り込んでいきたい。

②なるべく早い時期に高齢者対策推進委員会、実務者会に諮っていききたい。

**質問** ごみの減量化で重要なことは、生ごみの問題である。資源循環型社会の構築を基本理念とする村としてさらに推進していくべき重要課題と考える。そこで以下の点について伺う。

①ごみ収集の現状と今後の対応について

①高齢者アンケート調査を年度内に実施する

山崎 源重

議員



## 檜原村におけるフィルム コミッションについて

PRする手段として大変有効

伺う。

①檜原村に、このような撮影のための問い合わせがあるか。

②フィルムコミッションについて、どう思うか。

**村長** ①平成27年度の問い合わせは、30件あった。

②フィルムコミッションは、檜原村をPRする手段として大変有効なものと考えている。

**質問** 檜原村の認知度は非常に低い。国や東京都にはフィルムコミッションの大きな組織があり、連携して檜原村をPRしたらどうか。

**産業環境課長** 東京都がロケ受け入れ担当者の養成講習会を行なっており、参加して知識を深めたい。問い合わせ内容をデータ化し、観光協会と情報の共有を図り、檜原村をPRしていきたい。

※フィルムコミッション

テレビや映画等の撮影場所の誘致や撮影の支援などを行う機関

**質問** あきる野市では、2年前よりフィルムコミッション係を設置しテレビや映画のロケ地として注目されている。檜原村の自然やロケーションはすばらしく、フィルムコミッションは村の振興のきっかけになると思われる。そこで以下の点について

山口 和彦

議員



## 村における今後の教育施策の 方向性と施設改修について

財務部局と相談の上  
考えていきたい

事項と考えている。

**質問** 衛生面から見ても和式には難点が多い。洋式化や節水型のトイレ、温水洗浄便座の導入はできないか。

**教育課長** 中学校において6割の生徒が洋式トイレを利用したという調査結果が出た。今後財務部局と相談の上考えていきたい。

**質問** 温水洗浄便座やトイレ用擬音装置は今やトイレの必需品になっており改修時には検討して欲しいが。

**教育課長** 今後計画を立てる際には考慮していきたい。

**質問** ①今後の一貫教育の推進と教育施策に変わりはないか。

②今後の教育環境の整備計画とトイレの改修計画は。

**教育長** ①就任から1年が経過したが、教育長として施策方針に変わりはない。

②トイレの改修は将来的な検討



吉川 洋

議員



## 未来に輝ける村づくりのために 村の森林資源や特産品を 東京五輪事業に採択させる

村の活性化のために大変に  
有益である

ために大変有益であると考え  
る。

今後、東京都や各種関係団体と  
協議・調整を行いながら対応し  
ていく。

**質問** 村の調査では村内に296の  
空き家があり、そのうち40件は

賃貸や売買を検討できるとなっ  
ているが、新規移住者の誘致と  
空き家の活用について、村の取  
り組みは。

**村長** 村内の空き家情報をデー  
ターベース化して空き家管理シ  
ステムを導入し、新規移住希望  
者への空き家紹介に努める。

**質問** 村空き家登録が少ない状  
況をどのように分析している  
か。「めるか檜原」の活用等で、  
村がもっと積極的に関わること  
が必要と考えるがどうか。

**企画財政課長** 近隣自治体でも  
第三セクター等の活用で空き家  
対策を実施しており、村でも「め  
るか檜原」の効果的な利用を進  
めていきたい。尚、貸していた  
だく可能性のあるところには村  
づくり協力隊が1件1件紹介を  
している。

**質問** 檜原村の森林資源や特産  
品等を東京五輪の関連事業に採  
択させることは、村の活性化に  
有効であると考えがどうか。  
**村長** 檜原村の木材や特産品を  
活用していただくことは国内外  
へ向け、檜原村を知らしめる大  
きな契機となり、村の活性化の

### 村の伝統・文化遺産の発 掘と維持管理について

ひのはら風穴の  
檜原風穴の価値をどのよう  
にとらえているか

**檜原風穴は一定の価値があると  
認識している**

**質問** 檜原風穴は東京で唯一の  
風穴で貴重で価値があると、風  
穴学者のなかで言われている。

**村長** 村の学校教育や社会教育、観光  
などにも活かせると思うがどう  
か。

**教育長** 柏木野地区にある風穴  
は蚕種を貯蔵するための石室で  
あるが、自然を活かした一定の  
価値があるものと認識をしてい  
る。観光振興への活用について  
はエコツーリズムとも連携し、

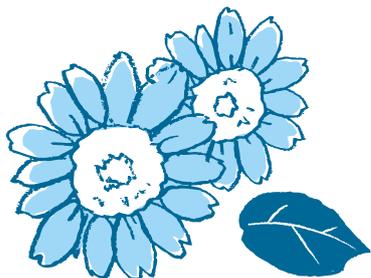
学校教育や社会教育においても  
活かせるものについては活かし  
ていきたい。  
**質問** 檜原風穴を今後、所有者  
と協議して保存、維持管理につ  
いて予算措置をしていく必要が  
あると考えるがどうか。

**教育課長** 経路や保存方法、所  
有者等の意見など解決すべきこ

とが沢山あるが、条件を整え  
ば行っていきたい。

**質問** 小林家住宅のモノレール  
を動かせない理由と今後の復活  
の見通し、原因者に対して何ら  
かの法的措置を求めるとも必  
要と考えるがどうか。

**教育長** 動かせない原因は御前  
山林道の上部に幅20メートルの  
亀裂があり斜面が崩落する恐れ  
があるとのこと。そのためモノ  
レールの再開は未定である。斜  
面亀裂は予見できなかった事象  
のため東京都への責任追及や法  
的措置は求めない。



9月議会のお知らせ  
(予定)

- 定例会初日 9月 5日(月)
- 常任委員会 9月 8日(木)
- 9月 9日(金)
- 決算特別委員会 9月13日(火)
- 定例会最終日 9月16日(金)

請願・陳情に  
ついてのお知らせ

請願は、国民に与えられた権利として憲法に定められており、国や地方公共団体、国会、地方議会に対して、誰でも希望・要望することが保障されています。

請願は、その趣旨に賛同する議員の紹介が必要です。

陳情は、議員の紹介がなくても提出できます。

請願書(陳情書)の記載方法等については、議会事務局までお問い合わせください。

電話 598-1011

議会だよりに「声」をお寄せください

お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいた意見は、要約して議長判断により掲載させていただきます。

お問い合わせは、議会だより編集委員会へ

TEL 598-1011 FAX 598-1009 Email:gikai@vill.hinohara.tokyo.jp

編集後記

6月22日の参議院選挙公示に始まり7月31日の都知事選挙投票日と、この夏の前半は選挙で明け暮れました。

この40日間に暦は夏至、小暑、大暑と進み今月7日には早くも立秋を迎えます。とはいえ、これからが夏本番となり猛暑日が続きますので熱中症防止のために水分を十分補給して、この厳しい夏を乗り切りましょう。

私たちも編集委員となり2年目を迎えました。これからも皆様に親しまれる議会だよりの編集に努力いたします。

編集委員会では、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

どうぞ、お気軽に皆様の声をお寄せください。

(峰岸)

委員長 峰岸 茂  
副委員長 清水 満男  
委員 浜中 由造  
吉川 洋